第〇〇回全国非常通信訓練報告様式

※(1)(2)は訓練前、(3)は訓練後に記入して提出してください。

(1) 訓練の基本情報

訓練名	○○県内における災害想定等					
災害想定	-					
訓練開始日時	月	日()(00:00	訓練終了予定時刻	00:00	
<災害発生の経絡	偉>					
例:令和 年11月〇〇日〇時〇分ごろ、東南海沖を震源としたマグニチュード8.0の地震が発						
生し、××町でに	は震度6強	を観測した。				
本訓練に参加する機関名						
例:××町、△△市、〇〇県警察本部、△△警察署、〇〇放送㈱						
訓練の種類(該当する項目にチェックしてください。)						
□非常通信ルートを用いた訓練						
地方通信ルートと中央通信ルートを用いて行う、市区町村〜内閣府(消防庁経由)の通信						
訓練。						
□非常通信ルート以外の通信手段を用いた訓練 地方通信ルートが使用不可である状況下を想定し、非常通信ルート以外の通信手段を活用 した通信訓練。(総務省より災害対策用移動通信機器の貸出しが生じる場合も記入ください。) 通信手段の例: 衛星携帯電話(総務省より貸出し)、衛星携帯電話(○○市保有)、防災相互波、地域衛 星通信ネットワーク、MCA無線(総務省より貸出し) 等						
│ □ その他 │						
訓練担当者の氏名及び連絡先						
所属機関		担当	者氏名	電話(連絡用)	FAX(連絡用)	

消防庁 防災情報室						
内閣府(防災担当)						
住民等への情報提供計画						
	_					

(2) 訓練の詳細情報

非常通信ルートを用いた訓練

訓練で使用する非常通信計画

<u>※往路と復路が同じ場合は往路のみをお書きください。(異なる場合は復路もお書きください。)</u> <地方通信ルート>

例:

- 既存のルートを使用する場合 ○○市役所(自営)→○○県
- ルートを新設する場合新設:○○市(使送)→△△電力(中防)→消防庁(中防)→内閣府
- 往路と復路でルートが異なる場合 往路:○○市役所(使送)→△△センター(その他)→○○県

復路:○○県(その他)→○○市役所

<中央通信ルート(都道府県~内閣府(消防庁経由))> 第 経路: ルート

※中央ルートを新設した場合はそのルートを記載ください。

例·

○○県(使送)→△△電力(中防)→消防庁(中防)→内閣府

非常通信ルート以外の通信手段を用いた訓練

具体的な訓練内容

例:

<衛星携帯電話を活用した伝達訓練(総務省より貸出し・自治体保有)>

- 訓練の種類
 - 実動訓練(もしくは机上訓練)
- 実施場所
 - ○○県△△市役所、△△市消防本部
- 訓練概要

水没による市役所庁舎の電源断及び市町村防災無線の故障を想定し、保管している衛星携帯電話を使用して△△市役所と△△市消防本部間の通信を行う。

通信機器の概要

〇〇県庁:衛星携帯電話(ワイドスター)【1台】(総務省より貸出し) △△市役所:衛星携帯電話(ワイドスター)【1台】(自治体保有)

<防災相互波を活用した伝達訓練>

- 実施場所
 - 〇〇県庁
- 訓練概要

震度6強の揺れにより、公衆通信網に障害を受けた場合等を想定し、防災相互波を用いて△△電力と○○県庁間の通信を行う。

その他

具体的な訓練内容

例

<非常用電源を用いた運用訓練>

● 訓練内容

水没による庁舎の商用電源断を想定し、備蓄している非常用発電機を県防災無線設備に接続し稼働させる。その際、燃料の残量を確認し、使用可能時間の把握、追加の燃料確保手段の検討を行う。

(3) 訓練の結果報告

非常通信ルートを用いた訓練

通信ルートの利用について

仴

計画した通信ルートを利用したか、利用できなかった場合の理由と別ルートの構築状況(速やかに構築できたか等)等

通信ルートの有効性について

仴

訓練の結果を踏まえて、訓練で利用した通信ルートが有効と考えるか、改善の余地がある場合 は原因や改善策 等

地域防災計画や通信ルートの変更に関する検討について

例·

訓練の結果を踏まえて、地域防災計画や地方通信ルートの見直しを行う予定があるか 等 ※ 見直しを行う必要がない場合にはその旨をお書きください。

その他課題・改善点

例·

訓練の結果を踏まえて、その他に課題・改善策等

非常通信ルート以外の通信手段を用いた訓練

訓練で得られた知見・課題、機器の有効性や改善点

<訓練の種別ごとに以下を記載ください>

- 通信訓練の結果
- 災害時における有効性や課題及びその改善策
- (総務省より機器を借り受けた場合)今後の災害時の機器借り受けを希望するか 等

例:

<衛星携帯電話を活用した伝達訓練(総務省より貸出し・自治体保有)>

- 正確かつ迅速な情報伝達ができた。
- 動練で普段使用しない機器の取り扱いを習熟できたが、定期的に使用することにより 災害時に円滑な操作ができるようにする必要がある。
- 今後、災害時の機器借り受けを希望する。

その他

訓練で得られた知見・課題や改善点

例

<非常用電源を用いた運用訓練>

訓練の結果を踏まえて、非常用電源が有効と考えるか、改善の余地がある場合は原因や改善策 等

(4) 訓練結果の総評 例: 問題なく訓練を実施できたか、訓練全体を通しての課題や改善策 等

(5) ご意見・ご要望